

学校名 羽生市立岩瀬小学校
所在地 羽生市上岩瀬1756
電話 048-561-0803

1 本校の概要

本校は、羽生市の西部に位置する学級数14、児童数339名の中規模校である。校区内には、短期大学、高校、中学校、保育所等があり、羽生市のグローバルタウン構想の中核として、英語教育にも力を注いでいる。また、読書環境の整備や学校・地域・読み聞かせボランティアとの連携を図りながら読書活動を推進している。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

- ・読書活動の充実
- ・家庭や地域との連携
- ・プレゼンテーション能力の向上

(2) 実践の概要

ア ビブリオタイム

本校では、毎週金曜日の朝をビブリオタイムに設定し、学級や学年でビブリオバトルを行ったり、全校ビブリオ集会を行ったりしている。集会は図書委員の児童が主体となって進めている。



<班で>



<全校集会>

イ 読書タイム

読書の時間を確保するために、毎週月曜日の朝を読書タイムとし、20分間読書に親しんでいる。

ウ 読書月間

秋の読書月間では子供たちに本のビンゴを配布し、様々なジャンルの本を読むように促している。ビンゴになった児童には好きな絵柄のしおりをプレゼントしている。

エ 学校司書との連携

学校司書と連携し、国語を中心に授業に関連する本の並行読書ができるように内容を合わせ、学級文庫を入れ替えている。また、他教科も学習の進度に

合わせて本を入れ替えている。

オ 読み聞かせ

ボランティアの「ぼけっと」さんが、毎週月曜日の朝来校し、1クラスずつ順番に読み聞かせを行っている。そのため児童の読書に対する興味・関心が高まっている。



カ 読書貯金通帳

低学年は、年間60冊、高学年は、年間6000ページを目標に読んだ本を読書貯金通帳に記録し、自分の読んだ本を足跡として残すことで、読書活動に意欲的に取り組んでいる。また、この目標を達成した児童には年度末に賞状を授与している。

キ 家読の日

毎月20日を「家読の日」とし、家庭でもテレビを消して20分を目安に親子で読書に親しむ機会を設けている。

ク 掲示物の工夫

目標の数の本を読んだらそれぞれの冊数に応じた色の葉をもらい、本の題名や学年、名前を書いて「読書の木」に貼っている。また、チャンプ本に選ばれた本は図書室前の廊下に掲示し、子供たちの目に触れられるようにしている。



3 成果と今後の課題

(1) 成果

ビブリオバトルへの取組により、全体的に児童の読書活動本の質が向上してきた。更に自分の考えを相手に効果的に伝えるため、発表の能力も向上している。また、話を聞く力も向上してきている。

(2) 課題

授業に関連する本を充実させられるよう、今後も必要な本を準備していきたい。

(3) おわりに

いろいろな働きかけを通して、児童の読書の量と質が向上している。今後もさらにステップアップを図りたい。